

桜陽高校だより

卒業生に贈る

校長 笈川 巧



校訓 賢く 強く 豊かに

学校教育目標

- (1) 研學に努め、知性を錬磨する。
- (2) 環境を整え、公共心を涵養する。
- (3) 責任を重んじ、道義心を涵養する。

降り積もった雪が街全体を覆っていた小樽においても、春が近いことが一日と感じられるようになり、いよいよ卒業生の門出の日を迎えました。卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。そして、この三年間本校の教育活動にご理解とご協力を賜りました保護者の皆様にも心からお祝いと感謝を申し上げます。特に昨年十月に行われた体育祭におきましては、PTAの皆様から飲み物の差し入れをいただきました。また後夜祭の花火打ち上げに関わり、財政的支援もしていただきました。心より感謝申し上げます。

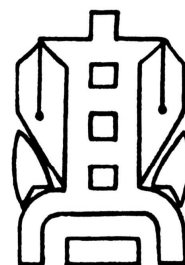
さて、卒業生のみなさんは、高校三年間のうち、二年間がコロナ禍の中でした。失ったもの、できなかったことを数えたらきりがありません。ではないでしょうか。進路活動が忙しく、高校生活をゆとり振り返る時間もないまま、ここまで過ぎてきたのではないかと思います。特に三年次生として過ごした

のは、臨時休校などもあり実質半年間程度でした。その中で桜陽祭は中止となりましたが、高体連、高文連、体育祭などにおいて、次年度につながる役割を果たそうとする思いや意気込みは一年次生・二年次生に伝わったと思います。ありがとうございました。

令和四年度、後輩達は誰も経験したことがない状態で桜陽祭を創り上げていくこととなります。機会があったらぜひ小樽まで見に来て、評価してあげてください。

ところで、これから卒業生のみなさんは社会に出ていくことになりますが、その暮らしの中でぜひ心に留めておいてほしいと考えていることが二つあります。

一つ目は、本業以外で「自分が楽しい、おもしろいと思うこと」を探して、挑戦してみる「こと」です。本業とは違いますが、もしかしたら今すぐ何かの役に立たないかもしれませんが、他人から理解されないかもしれないかもしれません。しかし、楽しくて夢中になったことで、将来何かの役に立つこともあり得るのではないかと思います。さらに、そのおかげで辛いこと、苦しいことがあっても気持ちを切り替えることや自分の居場所を見つけることができるので



目次

- P1 学校長
- P2 3年次
- P3 2年次
- P4 退職挨拶
- P5~7 部活動報告

第104号

令和4年

3月1日発行

はないかと思っています。好奇心を持ってまわりのものを見ることを忘れないでいてください。

二つ目は、「出会いを無駄にしないこと」です。

親との出会いから始まり、これまで一体何人の人たちと出会ってきたでしょうか。結果として良い出会いばかりとは限らなかったかもしれませんが、つらい思いをしたこともあるかもしれませんが、これまで多くの人が「出会いの大切さ」を説いています。有名な「一期一会」という言葉はよく耳にするとあります。このことは、多くの人が出会いから学び、出会いが人生を変えられることがあることを知っているからだと思います。「出会いを大切に」と言ってしまうと、ありがたみに聞こえるかもしれませんが、出会いによって新たなことを知ることが新たな学びにつながり、みなさんの人生がますます豊かなものになっていくことを心から願っています。

結びになりますが、これまで本校の教育活動にご理解とご支援を頂きましたPTA、桜陽会をはじめ地域の皆様に心より感謝申し上げますとともに、皆様のご健康を心よりご祈念申し上げます。

卒業生に向けて

三年次主任 森平 晶



私事ですが、昨年八月のとある日（植地先生の誕生日）に息子が産まれました。普段美術室にて向かいの視聴覚室で保健の熱い授業をしている小川先生（私と同じ生年月日）の有難い話を聞いていたので、妻の高齢出産にかなりビビりながら、当日病院で出産に立ち合いました。若い頃ちよとした採血や献血で具合悪くなるような情けない私でしたが、妻の気迫と緊張感

と使命感とを共有し、その神聖なる瞬間をしっかりとこの目で見届けることができました。

大泣きしながら生まれ出た赤子を見た瞬間、なぜか少し涙が出ました。昔親父を亡くした時にも泣きましたが、それとはまた違う、不思議な涙でした。

「親の心子知らず」とはよく言ったものです。かく言う自分も、狭くて暑くてヤンキーのいる地元広島から一刻も早く外に出たくて、高校卒業と同時に四国高知（もっと暑い陸の孤島）の大学へ進学させてもらい、就職先に選んだのは涼しい北海道でした。海外ではないからましじゃがといいながら帰省は数年に一回です。

これまで自分は親の愛情や苦勞というものをわかったつもりでいました。（今でも「北の国から、87」の泥の付いた一万円札のシーンは回想するだけで涙が出ます。）それがほんの数か月、乳児と生活を共にしただけで、世間の親がわが子に対してどれほどの労力と苦勞とそして愛情を注いでいたのか、というのを今さらながら思い知りました。

いまそこで当然のように椅子に座り、つまらなそうにこの文章を読んでいる十八歳前後のあなた。吉村先生も同じようなことを言っていました。この十八年間、あなたを産んでくれた親が、また育ててくれた親が、ここへたどり着くまでにどれほどの労力と苦勞とそしてとめどない愛情を注ぎ続けてきたのか、そしてそれがどんなに大変で気の遠くなるようなことだったのか、ちよと想像してみなさい。

「親の心子知らず」。自分がそうだったように、実際に親になつてみないと実感は湧かないかもしれませんが、せめて想像すること位はできると思います。

高校卒業を迎えるみなさん。今日はそういうことに思いをはせる日です。

（あとできれば新生活をスタートする前に「北の国から、87」を観てください。できれば一人きりで。）

心から卒業おめでとうございます。



見学旅行を終えて

二次次主任 寺本 宜生

十二月四日から七日まで三泊四日の日程で見学旅行に行ってきました。コロナ禍の中での実施ということで、例年と行き先も時期も全く異なる旅行となりました。私も経験のないことであり、ある意味で思い出深い見学旅行となりました。今回の桜陽だよりでは、今年の見学旅行を変更するまでの経緯と、旅行後に行った見学旅行の生徒アンケートを通して見学旅行の様子を振り返りたいと思います。

まず、行程についてです。今回は、行き先を例年の関西方面から九州方面へと変更しました。三月に年次主任の引き継ぎを受けた際、一番最初に言われたことが、このことでした。「コロナ禍であるが、とにかく何とか行くことができるようにしたい」、「行き先を関西方面から変更することを検討をしている」、「直前に変更すると、キャンセル料が発生するので、できるだけ早く決めたほうがよい」という内容でした。そこで、四月に見学旅行の行き先をどうするかを話し合う中で、「関西のままで、何かあったときに変更できなくなる可能性が高い」、「全道の高校の話の聞くと、もう関西から場所を変更している」、「行程を変更した高校の話では、九州の見学旅行は悪くないようだ」、「見学する場所と内容を考えると、九州が妥当ではない

か」ということから、場所を九州に変更することとしました。次に、日程ですが、当初予定の十月から十一月では、予算的に二泊三日の行程となってしまう、満足な見学旅行ができなくなるということで、時期をずらすようになりました。そこで、いつ実施できるかを学校行事と、飛行機やホテルの予約状況とを照らし合わせて検討したところ、実施可能な時期は十二月しかない、ということになり、今年の見学旅行は十二月に九州へ行くということとしました。

次に、アンケートの集計から見学旅



行の様子を振り返りたいと思います。全体を通してみると、見学旅行について生徒は概ね満足したことがうかがえます。特に「見学旅行でなければ、なかなか九州には行かないと思うので良かった」、「関西から場所が変わって、最初はがっかりしたけど、九州に行けて良かった」という回答が多くありました。私も行程を変更して生徒がどう感じているか気になっていましたが、旅行中の様子を見ても、楽しそうな表情をしている生徒も多く、九州に行ったことに対して満足していることから、本当に実施できて良かったなと感じています。また、見学先では、各自の希望で選択したハウステンボスと軍艦島が生徒にとって評価の高いものとなっています。ハウステンボスでは「とても楽しかった。もつと時間がほしかった。」、軍艦島では「上陸できてよかった。貴重な体験ができた」という声が多く寄せられています。更に、どちらのコースでも「もう一回行きたい」という声も多数あがっています。今回の見学旅行はコロナ禍であり、生徒が楽しみとする自主研修は計画できませんでしたが、代替のコース別研修で楽しむことや、有意義な時間を過ごすことができたことは、私もうれしく感じます。その他の見学先でも概ね生徒の満足度は高いものがあり、熊本城では「お城を初めてみるのができて、感動した」、原爆資料館では「心が痛くなった。悲しくなった。」という感想を書いている生徒もいました。各見学先で「日本の歴史の勉強になった」といっ

た回答もあり、生徒にとっては楽しむだけでなく、学びの面でも得られるものがあつた見学旅行になったのでは、と感じています。

最後になりますが、このような社会情勢の中で見学旅行を実施しましたが、保護者の方をはじめとして、多くの方々のご協力とご尽力がなければ実施できなかったと感じています。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



退職される教職員の方々

小樽と桜陽高校の思い出

校長 笈川 巧

令和二年に足寄高校から赴任しました。二年という短い在職期間で思い出すのはコロナ感染に関わる事が多いです。しかし決して楽しいことではないので、コロナ以外の思い出などを通して、小樽や桜陽高校についての思い出などを少しではありますが記したいと思います。

赴任したてのころ、当時放送局の顧問をされていた増子先生にお願いして、放送局が作成した映像作品のDVDを数本貸していただきました。桜陽高校にまつわるものから、小樽、後志に関わる多岐にわたる内容で、大変興味深く、勉強になりました。次のような内容でした。

- ・卒業式に合わせて桜陽ホールに飾られてきた「ひな人形」の歴史
- ・桜陽高校の「セーラー服」の歴史
- ・「運河埋め立て反対運動」、桜陽高校卒業生峯山富美さんの反骨精神
- ・小樽の「消火栓」の色の違いとその背景
- ・「中野植物園」、親子代々の物語
- ・小樽港防波堤生みの親「廣井 勇」、市民に意外と知られていない運河公園の廣井勇像

・余市のリンゴ「緋の衣」、リンゴ侍と擲掬されながらも栽培した会津藩士たちの苦勞

これらの作品を見てから、市内を散歩する時の意識が変わっていききました。消火栓の色を気にするようになり、運河公園近くを散歩した時は廣井勇像を探しました。運河を眺める時はその歴史を意識するようになりました。残念ながら中野植物園に行くことはできませんでしたが、改めて小樽の長い歴史を重ねてきた奥深さを感じました。これらの作品を作り上げた放送局のみなさんに感謝したいと思います。

また、昨年の暮れだったと思うのですが、北海道新聞に桜陽高校の関係者に関わる記事を見つけました。その方は園井恵子さんという女優の方でした。本校の前身である小樽高等女学校二年の時に宝塚歌劇団に入団して活躍され、その後は別の劇団に所属して舞台、映画で活躍されました。そして一九四五年八月六日、当時所屬していた移動劇団の拠点であった広島で被爆し、八月二十一日に放射線障害のため三十二歳で亡くなったそうです。ますますの活躍が期待される年齢だったことを考えると、園井さんの無念は想像すらつきません。そして、放課後桜陽記念ホールから聞こえてくる、スタインウェイピアノの

響きは心地よいものです。二〇二二年はこのピアノが製作されて百年目を迎えます。現役であることが貴重です、次の世代に大切につないでいて欲しいと願っています。

この二年、小樽や桜陽高校という名やゆかりのある人物などについて見聞きする機会が多かったように感じています。私が小樽出身ではなく、見るもの、聞くものを新鮮に感じたからかもしれないませんが、桜陽高校にはたくさん財産があると感じています。生徒のみなさん、これまでの財産を次の世代につなげるとともに、新たな財産を増やしていただください。

お世話になりました

教諭 吉村 尚貴

時の流れは早いもので、私が桜陽高校に赴任してから二十四年の月日が経ちました。気が付けばもう退職という年となりましたが、まだまだ実感が湧きません。この間、多くの生徒、先生方、保護者の方々に支えられて何とかやってきましたが、本当にお世話になりました。

振り返ってみると、二十四年前と言えば私自身も三十七歳の若手教師（桜陽高校では）で、右も左も分らないまま夢中で教員生活を送っていました。念願のラグビー部の顧問となり、学級担任としても生徒と共に汗を流しながら、日々を過ごしていました。

その間、桜陽高校も一〇〇周年を迎え、新校舎（現在の校舎）も完成して、節目の年に立ち会えたことは大きな思い出となりました。（ちなみに一〇〇周年も経験しています）また、ラグビー部も、数名の部員でスタートしたのですが、徐々に部員も増え、気がつけば全道大会の常連校となり、全国大会に選手を派遣するような部に成長しました。OB・地域の方々や保護者の方々とも楽しく活動したことも鮮明に覚えています。学級担任も四期、都合十二年間にわたり卒業生を送り出すことができ、授業なども含めると、いったい何人の生徒と関わったのか想像出来ません。

このように考えてみると、私自身の二十四年間は桜陽と共にあり、私を「人間として」「教員として」成長させてくれたのも、桜陽高校とそこに関わる方々でした。そんな桜陽高校に私が何を残せたかはわかりませんが、皆様の記憶の片隅に少しでも残っていると幸いです。

考えてみると、桜陽高校での二十四年間は、私の人生の三分の一以上、桜陽は私の「心の故郷」であり、「教員としての母校」であり続けることと思います。本当にお世話になりました。

「桜陽よ永遠なれ。」



部活動結果

【地区大会】

【バレー部】

◎小樽・後志春季大会

【男子】 優勝

【女子】 4位

◎北海道高等学校総合体育大会 小樽支部予選会

【男子】 準優勝

【女子】 予選リーグ敗退

◎小樽市スポーツ大会

【男子】 優勝

【女子】 3位

【柔道部】

◎高体連後志支部予選

団体戦

【男子】 優勝

【女子】 優勝

個人戦

【男子】

90kg超級

3位 2年 酒井

90kg級

1位 3年 角間

3位 3年 後藤
5位 3年 田口

73kg級

1位 1年 加藤

【女子】

48kg級

1位 1年 浦野

2位 1年 武藤

【サッカー部】

◎地区春季選手権大会

1回戦 水産 4-0

2回戦 倶知安 3-1

決勝 北照 0-3

準優勝

◎選手権大会小樽支部予選

1回戦 対潮陵

0-0 (PK 4-3)

2回戦 対倶知安

1-1 (PK 5-4)

決勝 対北照 (0-4)

準優勝

【卓球部】

◎国体小樽地区予選卓球大会

【少年男子シングルス】優勝；安田優月、

3位；高橋颯太

ベスト8；山田一輝

薄田健治

9位代表；今堀凱仁

【少年女子シングルス】

優勝；山本寧美

ベスト8；三上琴璃

◎春季小樽支部大会

【男子ダブルス】

ベスト8；山田一輝・荒井

航太郎組

【女子ダブルス】

優勝；山本寧美・田村りん

組

【女子シングルス】

優勝；山本寧美

3位；田村りん

◎高体連小樽支部予選

〈男子学校対抗〉優勝

準決勝；桜陽3-2倶知安

決勝；桜陽3-2岩内

〈女子学校対抗〉第2位

〈男子ダブルス〉優勝；和

田椿哉・安田優月組

〈女子ダブルス〉第2位

；山本寧美・田村りん組
〈女子シングルス〉

優勝；山本寧美、

第2位；田村りん

◎小樽卓球選手権大会兼

全道大会予選会

〈ジュニア男子シングルス〉

準優勝；高橋颯太

ベスト8；山田一輝、

薄田健治

〈男子ダブルス〉

ベスト8；高橋颯太・山田

一輝組

〈混合ダブルス〉

ベスト8；高橋颯太・笹原

千裕（潮陵高校）組

【弓道部】

◎小樽支部高校弓道春季大会

男子団体優勝

女子団体優勝

男子個人三浦昂輝（2年）

優勝

女子個人三浦昂輝（2年）

女子個人三浦美紀（2年）

3位

◎招魂祭奉納射会（少年の部）

男子の部三浦昂輝（2位）

高橋悠太（3年）

◎高体連小樽支部弓道選手権大会

男子団体 2位

女子団体 3位

女子個人三浦陽音（2年）

3位

◎小樽市民スポーツ大会

弓道大会（少年の部）

団体2位三浦昂輝（2年）

菅原飛羽（2年）

和田祐輝（2年）

個人 男子

優勝 伊名野理叶（1年）

女子

優勝 本間陽音（2年）

第2位 吹越ゆい（2年）

第3位 山本晴月（2年）

◎小樽支部高校弓道新人大会

女子個人優勝

吹越ゆい（2年）

男子個人和田祐輝（2年）

女子個人山本晴月（2年）

3名南北北海道出場
男子団体優勝・女子団体優勝

ともに南北北海道大会出場



【野球部】

◎春季大会小樽支部予選

2回戦

小樽水産 4―10

◎選手権大会南北北海道大会小樽支部予選

2回戦

7―1

倶知安農業・蘭越・寿都

代表決定戦

北照 1―11

(Aブロック準優勝)

◎高校総体予選

◎秋季大会小樽支部予選

2回戦

倶知安農業・蘭越・寿都・小樽未来創造 13―4

準決勝 小樽明峰

12―4

決勝 北照 0―13

準優勝

【男子バスケットボール部】

◎春季大会

1回戦 对小樽水産

112―68

準決勝 对小樽潮陵

46―85

順位決定戦 对小樽明峰

120―54 (3位)

◎全国高校総体予選

1回戦 対倶知安

83―84

◎女子バスケットボール部

◎春季大会

準決勝 对小樽潮陵

48―62

順位決定戦 对小樽未来創造 80―25 (3位)

◎高校総体予選

1回戦 对小樽未来創造 72―39

決勝リーグ

1試合目 对小樽潮陵

51―67

2試合目 对小樽双葉

39―91

3試合目 对小樽水産

86―44

女子3位

優秀選手賞 今野純菜(3年)

◎バドミントン部

◎春季大会

男子ダブルス

市川・嶋屋 ベスト8

女子ダブルス

土岐・本間 4位

男子シングルス

市川三士郎 4位,

嶋屋秀人 ベスト8

◎高校選手権大会小樽支部予選

男子ダブルス

市川・嶋屋 3位

女子ダブルス

市川三士郎 4位,

土岐・本間 4位

男子シングルス

市川三士郎 4位,

嶋屋秀人 ベスト8

◎テニス部

◎小樽支部春季大会

男子シングルス 2位

◎小樽支部選手権大会

団体戦

男子2位・女子3位

個人戦シングルス

土岐・本間 ベスト8, 嶋崎・世戸 ベスト8,

丸山・千葉 ベスト8

男子シングルス

市川三士郎 4位,

嶋屋秀人 ベスト8

男子団体 4位

女子団体 一回戦敗退

◎小樽地区バドミントン選手権大会

男子ダブルス

金澤・大瀧 3位,

永原・志和 4位

男子シングルス

金澤 俐玖 準優勝

女子ダブルス

金田・本間 4位,

嶋崎・坂井 ベスト8,

世戸・高橋 ベスト8

◎ラグビー部

◎高体連小樽支部大会

対小樽潮陵

5―47 準優勝

男子優勝 山形

個人戦ダブルス

男子3位 山形・土谷組

◎国体後志地区予選大会

少年男子シングルス

優勝 山形

少年女子シングルス

準優勝 宮村

◎小樽ジュニアシングルス選手権大会

男子16才以下

優勝 津田

女子18才以下

3位 宮村

◎小樽ジュニアダブルス選手権大会

男子18才以下

優勝 山形・本間組

男子16才以下

優勝 津田・須貝組(他校合同)

優勝 津田

女子16才以下

優勝 津田・須貝組(他校合同)

優勝 津田

女子16才以下

優勝 津田・須貝組(他校合同)

優勝 津田

女子16才以下

優勝 津田・須貝組(他校合同)

優勝 津田

女子16才以下

優勝 津田・須貝組(他校合同)

優勝 津田

女子16才以下

優勝 津田・須貝組(他校合同)

優勝 津田

女子16才以下

優勝 津田・須貝組(他校合同)

優勝 津田

【ソフトテニス部】

◎小樽支部春季団体ソフトテニス大会

女子団体 3位

◎高校ソフトテニス選手権大会小樽支部予選会

男子団体 優勝(全道)

女子団体 準優勝

男子ダブルス 優勝

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道進出)

1)ペア(全道進出)

準優勝 横道(1-2)・加藤(1-1)ペア(全道進出)

女子ダブルス 第4位

藤原(2-5)・棚田(3-1)ペア

3)ペア

第4位 菊地(2-3)・櫻井(3-2)ペア

◎小樽支部ソフトテニス高校国体予選大会

男子ダブルス 優勝

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道大会進出)

1)ペア(全道大会進出)

準優勝 横道(1-2)・加藤(1-1)ペア(全道大会進出)

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道大会進出)

1)ペア(全道大会進出)

準優勝 横道(1-2)・加藤(1-1)ペア(全道大会進出)

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道大会進出)

1)ペア(全道大会進出)

女子ダブルス 優勝

藤原(2-5)・本間(2-1)ペア(全道大会進出)

3)ペア(全道大会進出)

第3位 三島(3-1)・棚田(3-3)ペア(全道大会進出)

第4位 羽立(恋)(1-1)・松井(野)(1-3)ペア

◎小樽支部高校新人ソフトテニス大会

男子団体 優勝(全道大会進出)

女子団体 優勝(全道大会進出)

男子ダブルス 優勝

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道大会進出)

2)ペア(全道大会進出)

準優勝 横道(1-2)・加藤(1-1)ペア(全道大会進出)

女子ダブルス 優勝

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道大会進出)

2)ペア(全道大会進出)

準優勝 横道(1-2)・加藤(1-1)ペア(全道大会進出)

女子ダブルス 優勝

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道大会進出)

2)ペア(全道大会進出)

準優勝 横道(1-2)・加藤(1-1)ペア(全道大会進出)

女子ダブルス 優勝

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道大会進出)

2)ペア(全道大会進出)

準優勝 横道(1-2)・加藤(1-1)ペア(全道大会進出)

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道大会進出)

2)ペア(全道大会進出)

準優勝 横道(1-2)・加藤(1-1)ペア(全道大会進出)

山口(2-5)・加我(2-1)ペア(全道大会進出)

会進出

準優勝 加我昂大(2-1)・松井(野)(1-3)ペア

1)・松井(野)(1-3)ペア

女子シングルス 優勝 森愛凜(2-3)(全道大会進出)

第3位 本間彩華(2-1)・松井(野)(1-3)ペア

3)・松井(野)(1-3)ペア

第4位 藤原叶帆(2-1)・松井(野)(1-3)ペア

5)

◎NHK杯全国高校放送コンテスト後志支部大会

朗読部門：2-5佐藤美咲

2位(全道大会進出)、3-1神尾翔太7位、

2-2吉田暖菜7位、

1-2遠藤良太11位

創作ラジオドラマ部門：1位(全道大会進出)

◎高文連後志支部書道展・研究大会

特選：3-3計良 優稀乃

(全道大会出品)

【美術部】

◎高文連後志支部美術展・研究大会

全道推薦：2-5小松谷咲良

佳作(全道推薦次点)：3-3橋本雅、松岡愛唯

◎高文連後志支部音楽発表大会

吹奏楽部門発表の部 奨励賞

◎We are SNEAKER AGES 第5回北海道地区動画予選会

第5位(全道大会進出)

塚原(2-1)、安藝(2-1)・石塚(2-2)、松見(2-2)吉田(2-2)、三益(2-3)、小松谷(2-5)

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

◎高文連後志支部写真展

入選

3年 金本明里「彼女の夏」

3年 松原蒼衣「暗」脳に書き込め！」

2年 倉田玖音「奇々怪々」

(全道進出)

佳作

3年 金本明里「楓」

3年 松原蒼衣「軍艦島」

3年 井上愛梨「仲良し」

3年 黒田ひなた「薄紅」

2年 成田愛由「野生」

2年 花山路佳「海辺」

◎国体卓球北海道予選会

【少年女子シングルス】

1回戦敗退：三上琴璃

2回戦敗退：山本寧美

【少年男子シングルス】

1回戦敗退：山田一輝、薄田健治

2回戦進出：安田優月、今堀凱仁、高橋颯太

◎国体卓球北海道予選会

【少年女子シングルス】

1回戦敗退：三上琴璃

2回戦敗退：山本寧美

【少年男子シングルス】

1回戦敗退：山田一輝、薄田健治

2回戦進出：安田優月、今堀凱仁、高橋颯太

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【少年女子シングルス】

1回戦敗退：三上琴璃

2回戦敗退：山本寧美

【少年男子シングルス】

1回戦敗退：山田一輝、薄田健治

2回戦進出：安田優月、今堀凱仁、高橋颯太

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎国体卓球北海道予選会

【卓球部】

◎全国高等学校卓球選手権大会北海道予選会

【男子学校対抗】

1 回戦

桜陽 3 — 2 札幌月寒

2 回戦

桜陽 0 — 3 帯広工業

【女子学校対抗】

1 回戦

桜陽 3 — 1 標茶

2 回戦

桜陽 1 — 3 札幌龍谷

女子シングルス

1 回戦敗退；田村りん

2 回戦敗退；山本寧美

男子ダブルス

2 回戦敗退

和田椿哉・安田優月組

女子ダブルス

1 回戦敗退

山本寧美・田村りん組

【陸上競技部】

◎全国陸上選手権大会北海道予選会

男子 100 m

岡 玲紫 8 位

男子 200 m

岡 玲紫 準決勝進出

小笠原 翔 予選敗退

男子 400 m

佐藤 康生 予選敗退

男子 1500 m

下地 温斗 予選敗退

男子 5000 m

板橋 悠賀 予選敗退

下地 温斗 予選敗退

男子 110m ハードル

佐藤 康生 予選敗退

男子 400 m ハードル

佐藤 康生 準決勝敗退

八重樫 慧 予選敗退

男子 3000m 障害

木下 陸久 予選敗退

男子 5000m 競歩

土屋 拓夢 予選敗退

男子 4×100 m リレー

山本 岡 齊藤 小笠原

予選敗退

男子 4×400 m リレー

八重樫 板橋 下地 菊

池 予選敗退

男子 三段跳

山本 拓実 予選敗退

男子 ハンマー投

岡 玲紫 予選敗退

女子 100 m

日野 咲夢 予選敗退

女子 走幅跳

日野 咲夢 予選敗退

◎日本陸上競技選手権大会北海道予選会

男子 100m

岡 玲紫 予選敗退

小笠原 翔 予選敗退

男子 200 m

岡 玲紫 準決勝敗退

小笠原 翔 予選敗退

男子 4×100m リレー

山本 岡 齊藤 小笠原

予選敗退

女子 100m

日野 咲夢 予選敗退

女子 走幅跳

日野 咲夢 22 位

◎国体陸上競技大会北海道選手権考会

少年 A 男子 100 m

岡 玲紫 6 位

少年 B 男子 100 m

小笠原 翔 予選敗退

【バドミントン部】

◎北海道高等学校バドミントン選手権大会

男子ダブルス 市川・嶋屋

一回戦敗退

◎全日本ジュニア出場

選手権考会（南北海道）

男子シングルス

金澤 俐玖 一回戦敗退

◎北海道バドミントン選手権大会（高校の部）

男子ダブルス

金澤・大瀧 一回戦敗退

男子シングルス

金澤 俐玖 一回戦敗退

◎テニス部

◎北海道高校選手権大会

団体戦 対函館中部

2 — 1 一回戦敗退

シングルス

男子 山形 二回戦敗退

女子 宮村 一回戦敗退

ダブルス 植木 一回戦敗退

男子 山形・土谷組

男子 山形 二回戦敗退

女子 宮村 一回戦敗退

ダブルス

男子 山形・土谷組

二回戦敗退

◎国体北海道予選会

少年男子 山形

二回戦敗退

少年女子 宮村

一回戦敗退

【ソフトボール部】

◎北海道高等学校ソフトボール選手権大会

0 — 1 2 対札幌啓成

一回戦敗退

【ソフトテニス部】

◎ソフトテニス選手権大会

男子団体 加我（2 — 1）、山口（2 — 5）、加藤（1 — 1）、横道（1 — 2）、奥山（1 — 4）、小山（1 — 4）、高島（1 — 4）、古川（1 — 5）

1 回戦敗退（対北見北斗 0 — 3）

男子ダブルス 山口（2 — 5）・加我（2 — 1）

1 回戦敗退（対帯広農業） 0 — 4

横道(1-2)・加藤(1-1)ペア 1回戦敗退(対登別明日) 0-4

◎北海道高校国体大会

男子ダブルス

山口(2-5)・加我(2-1)ペア 1回戦敗退(対留萌) 3-4

横道(1-2)・加藤(1-1)ペア 1回戦敗退(対釧路商業) 1-4

女子ダブルス

藤原(2-5)・本間(2-3)ペア 1回戦勝利(対滝川) 4-1

2回戦敗退(対札幌龍谷) 1-4

三島(3-1)・棚田(3-3)ペア 1回線敗退

対札幌真栄中 2-4

【柔道部】

◎北海道高校柔道大会

男子団体戦

予選リーグ敗退

女子団体戦

対 石狩翔陽 勝

対 札幌北斗 敗

男子個人戦

73kg級 1年加藤勇哉

ベスト16

81kg級 3年後藤皇

1回戦敗退

90kg級

2年角間礼 3年田口結

斗 1回戦敗退

100kg級 2年酒井海

聖 1回戦敗退

女子個人戦

48kg級

1年 浦野満帆 武藤美

久 1回戦敗退

52kg級

3年 浅見妙圭 2回戦

敗退 3年 金田海音

1回戦敗退

【ボート部】

◎北海道高校ボート選手権大会

権大会

男子ダブルスカル 向井

(3-1)・前山(3-4)

優勝 全国高校総体出場

男子シングルスカル(南

(2-3) 第3位

男子シングルスカル(中條

(2-2)敗者復活戦 敗

退

女子ダブルスカル(福士

(1-3)・柴田(1-1)

第2位

◎国体ボート競技 北海道ブロック予選会

男子舵手付きクオドルプル

前山(3-4)・服部(3-3)・内藤(1-1)・本多

(1-1)・中條(2-2)

第4位

男子舵手付きクオドルプル(北海道選抜) 向井(3-1) 優勝 国体出場

t

男子シングルスカル(南

(2-3) 第3位

女子ダブルスカル(柴田

(1-1)・福士(1-3)

敗者復活戦 敗退

【放送局】

◎「Nコン」北海道大会

創作ラジオドラマ部門

出品

朗読部門 佐藤美咲(2-5) 参加

5)

【全国大会】

【ボート部】

◎全国高等学校総合体育大会 四国総体(愛媛)

男子ダブルスカル(向井

(3-1)前山(3-4)

予選通過

準々決勝進出

【新聞局】

◎令和4年度全国総文祭

北海道代表 参加

【山岳部】

◎スポーツクライミング

第10回リードユース日

本選手権南砺大会

吉田ゆな(3-1) 18位

(カテゴリー：ジュニア女

子)

◎スポーツクライミング

第8回ボルダリングユ-

ス日本選手権倉吉大会

(鳥取県)

吉田ゆな(3-1) 16位

(カテゴリー：ジュニア女

子)

